

平成21年度
社団法人新潟県臨床検査技師会
第2回通常総会議案書

期 日 平成22年3月14日

会 場 新発田市生涯学習センター 3階 創作実習室

総会次第

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 来賓紹介
4. 議長選出
5. 議長挨拶
6. 総会役員選出
7. 資格審査報告
8. 議事
 - 1) 第1号議案 平成22年度事業計画（案）について
 - 2) 第2号議案 平成22年度予算報告（案）について
 - 3) 第3号議案 支部提出議案について
 - 4) 第4号議案 日臨技定期総会提出議案について
 - 5) その他
9. 総会役員解任
10. 議長挨拶
11. 閉会の辞

平成22年度事業計画（案）

平成22年度事業方針について

平成22年度は、わが国の経済が世界同時不況の影響から如何に早く立ち直れるか、大いに期待をしたい。しかし、国策企業とも言われた日本航空の破綻や日本を牽引して来たトップ企業トヨタ車の大量リコールなどが顕在化しており、先行きに大きな暗雲が立ち込めている。また、政治改革を旗印に誕生した民主党政権も、かつて無い程の財源不足や政治資金問題で出鼻を挫かれ、立ちすくんでいる様にも感じられるが、一度変わった潮目はなかなか元にはもどらないので、今後、政治だけでは無く社会的にも大きな変化が現われてくることが予想される。

さらに、連戦連敗が続いていた診療報酬改定では、政権交代により明るい兆しが見えてきたと喜んだ矢先に、診療材料費の減額が打ち出され、検査実施料についても予断を許さない状況が続いている。

このような状況ではあるが、当技師会では職能団体として会員ニーズに応えることと臨床検査技師の県民への認知度向上を目指した事業展開を図りたい。分かりきったことだが、会員個々の組織体である技師会として何をなすべきか。そして何が出来るのかを常に考え行動したい。具体的には、5月30日（日）第1回定期総会と併せて第4回目の臨床検査セミナーを予定している。この度のテーマとして、新人やローテーション等で新たに担当する検査技師を中心に、各分野の卒後研修を企画している。県内技師学校の学生にも是非参加をお願いしたい。

秋の県学会は、持ち回りとして下越支部での開催が決定している。企画の詳細は未定だが、市民への公開企画も是非取り入れたいと考えている。検査研究部門では多様化する会員ニーズを把握し、そのニーズに沿った内容を企画することで、更なる参加者の増加を図りたい。日臨技と連携した標準化事業については、新たな取り組みとして、検査室の精度保障認証制度がスタートするので、従来から実施している県精度管理事業と同様に、より多くの施設から参加をお願いしたい。

公益事業としては、今年度も中越支部や新潟支部で実施している健康まつりへの参画の他「エイズ撲滅キャンペーン」の拡大実施や「ピンクリボンホリデー」への参加を予定している。会員からのボランティアを期待すると共に、社会に貢献する臨床検査技師をさらにアピールしたい。

広報部門においては、会員各位との情報交換を最優先と捉え、その速報性、情報公開性を高めるために新臨技ニュース、技師会ホームページをさらに充実したい。会誌についても編集委員の努力による年4回の定期刊行を維持し、より多くの会員から読んでいただける会誌を目指す。

総務部門では、法人制度改革による新公益法人認定が大きな課題となっているが、今年度中に今後の動向を見極めたい。また、相次いだ震災の経験を活かして「災害時支援対策マニュアル」を策定し、全会員へ周知すると共に、会員相互の災害支援ネットワークの構築を目指す。

2014年の全国学会誘致については、この機会に担当することで県技師会の活性化、発展に計り知れない効果があるので、賛否両論はあるとは思いますが、会員のコンセンサスを心得て速やかに立候補したい。

これら諸事業の遂行には、会員各位のご理解とご支援が何より必要となるので、是非ともよろしく願います。

【総務部】

1. 会務の執行体制

平成22年度は役員任期後期にあたるが、円滑な業務運営を進めるためにも、マニュアルの見直しと周知に務め、さらなる業務の標準化を図りたい。

また、事務局（専従）機能を充実させ、各県技師会および日臨技との連絡・調整の場として、更なる会員

サービスの向上を図りたい。

組織強化の面からは、日臨技、東北臨技、各支部、会員各位と協力しながら情報交換を図り、一人でも多くの会員から技師会の意義を感じ取ってもらえる環境・体制作りを整えなければならない。

新公益法人制度改革による公益社団法人格への移行については、日臨技をはじめ他県技師会の意向が足踏み状態の中で、新臨技としては国民および県民の保健・医療・公衆衛生に貢献する団体として、公益社団法人格の認定取得に向け委員会のなかで検討・準備を重ね会員への理解を求め進めていきたい。

2. 諸会議

1) 理事会・常任理事会

会議の招集、運営が非常に厳しい状況ではあるが、連携を密にするためにも、会議時間の短縮や運営方法を再検討しながら、総会に次ぐ議決機関として年6回の理事会を行い、常任理事会は毎月1回の定例開催を維持したい。

2) 三役会議・各部会議

諸会議の立案や各種業務内容の検討・調整を図るため、必要に応じて適宜開催する。

3) 各種委員会

本会活動の要としての役割を担っているが、本年度も更に活発に運営して行きたい。

業務が益々多忙になる中で、積極的な業務の見直しと効率化を図って行きたい。

3. 組織対策

1) 各支部との連携

各支部持ち回りの秋の学会運営が定着しており、開催支部の特色を出しながら支部主導のもとに多くの会員参加を募り、本会の事業方針の展開と臨床検査の発展を目指したい。

2) 入会対策

引き続き厳しい医療情勢ではあるが、職能団体としての機能をさらに発揮するためには組織拡大が重要であり、各支部、各施設の理解と協力を得ながら新入会員を確保して行きたい。

また、経営的観点からアウトソーシングの対象となり得る可能性がある検査技師業務の打開のためにも、日臨技がすすめる検査技師連盟への入会促進に積極的に取り組み、臨床検査技師の認知度向上と業務の拡大を図りたい。

3) 会員名簿の発行

個人情報保護法を遵守し、各会員の同意を得て隔年発行している会員名簿は、会務の運営ならびに会員相互の連携を図るうえに欠かすことが出来ないものであり、異動等があることから本年度は21・22年度版の補足版を発行する。

4. 公益活動（地域保健医療活動）

公益法人の使命でもある県民の保健・医療・公衆衛生の向上と臨床検査技師の社会的認知度向上を目的に、日臨技の公益事業計画および学会時の公開講演や健康展、関連職種団体との連携強化を進め、本年度も地域保健医療活動に積極的に参画して行く。

5. 無料職業紹介事業

さらに厳しさを増している就職情勢ではあるが、日臨技や各支部長と協力、連携して情報交換を行い、積極的に対応したい。

6. 表彰関係

1) 篠川至賞

平成22年度で第28回となる篠川至賞は、その制定主旨により、各支部からの推薦者の中より篠川至賞選考委員会の審査を経て表彰されるものであり、会員の励みにもなっている。各支部からの積極的な推薦をお願いする。

2) 会長表彰

特別功勞表彰、永年会員功勞表彰は、新臨技表彰規定に基づき、それぞれの基準に該当する者について表彰委員会の審議を経て、平成22年度通常総会において表彰する。

3) 第51回東北医学検査学会表彰

新臨技表彰規定に基づき、それぞれの基準に該当する者について表彰委員会の審議を経て、学会担当県技師会に推薦する。表彰は学会式典において行われる。

4) 生涯教育奨励賞

多くの会員の生涯教育および学術活動への参画と活性化を求めべく、分野に関わらず最多得点者の上位3名を推薦する。

5) 生涯教育新人賞

臨床検査教育の場としての研修会等への参加を通じ、更なる技師会活動への参画に期待し、分野に関わらず20代会員の最多得点終了者を表彰する。

【学術部】

1. 学 会

平成22年10月に第86回新潟県臨床検査学会を開催する予定である。今回の担当は下越支部であり、新発田市生涯学習センターで5会場を予定している。認定技師制度に伴い認定資格更新のための指定講習会を学会で開催予定である。その他、例年同様に一般演題・レクチャー・ランチョンセミナー・公開企画を実施する予定である。

会 期：平成22年10月

会 場：新発田市生涯学習センター

テーマ：未定

内 容：一般演題・認定資格更新指定講習会・レクチャー・ランチョンセミナー
公開企画

2. 検査研究部門

検査研究部門が企画する各種研修会は技師会の最も重要な活動のひとつである。医療制度や検査室運営体制、検査技術が激しく変化する状況においては、ますます重要な責務を負うものと考えられる。

組織は6部門に分かれ、生物化学分析部門、生理機能検査部門、形態検査部門、感染制御部門、移植検査部門、総合管理部門で構成される。また、部門は13の分野単位に細分され、臨床化学分野、免疫血清分野、染色体・遺伝子分野、機能検査分野、画像検査分野、細胞分野、病理分野、一般検査分野、血液分野、微生物分野、疫学・公衆衛生分野、輸血・移植分野、管理運営分野を含む。活動は、分野単位が中心であるが、技術的な垣根が薄れつつある分野間では、複数分野が協力して横断的研修会を開催する。1分野あたりの活動費助成金は昨年度と同額の8万円とし、受益者負担の原則の下で過剰な負担が及ばない程度の参加費で運営経費を補完する。

研修会の内容は、初心者や認定技師取得教育、最新情報などのバランスを考慮して、様々な状況にある会員に有用な情報をバランスよく発信できるように体制を整備する。若手・初級・中級・小規模施設などの人材育成と魅力ある学術活動を目指し、研究分野と協力して検査研究部門としての系統的な生涯教育を行いたい。輸血・移植分野や生理検査部門、形態検査部門などでは、実習形式による研修会を積極的推進する。研修会開催日の重複を避けるため、研究分野や支部との連絡を密に行い調整を図る。研修会開催日や場所は十分考慮し、地域格差を軽減する。新臨技ホームページを利用し、研修会や研究分野の情報発信をタイムリーに行う。

まもなく団塊世代の大量退職が臨床検査技師業界にも訪れようとしている。若手技師教育や後継者育成は

重要な課題である。若手技師を研究分野員や実務委員に積極的に登用し、後継者育成を行う。また、若手技師に対する学会発表や論文作成などの技術的なサポート体制を整備したい。チーム医療の重要性や役割が増加している。他職種との連携を強化することで相互協力の体制を構築したい。

3. 精度管理事業

本事業は新潟県医師会が新潟県から委託を受け、新潟県臨床検査精度管理協議会を設置して推進している事業である。本会としては、会員の技術向上に重要な事業であるという位置づけで、本年度も積極的に協力していく。

関係専門スタッフで構成された精度管理委員会の中心活動として、本事業の内容を更に充実、発展させていきたい。本年度も臨床化学、微生物を継続して実施し、昨年度は単年度事業として血球計数の調査を実施したが、可能な限り本年度も実施したいと考えている。平成19年度より日臨技データ標準化事業が開始し、それを踏まえ実施項目も増やし、標準物質が入手可能な項目には随時評価をおこなってきたが、本年度もそれらに努めたい。

また、日臨技では本年度より「臨床検査室精度保証認証制度」が始まる。新潟県技師会としても、多くの施設が認定されるよう県精度管理調査の内容を認定制度に見合った内容に対応するよう努力したい。

4. 生涯教育研修制度

日臨技情報総合システムを用いた日臨技生涯教育の行事・参加登録を、部門・担当領域担当者にも手続きを行えるように整備をし、生涯教育研修制度業務を円滑に進めていきたい。履修内容については、基礎教科、専門教科をバランスよく開催できるように調整を行い、多くの会員が修了書を取得できるように働きかけてゆく。

【広報部】

新臨技会誌、新臨技ニュース、ホームページの運営を通して全会員にリアルタイムな情報を提供していきたい。編集委員およびHP委員は2年目を迎え、会誌やHPの充実に熱意を持って取り組んでいる。今年度は新潟県技師会のシンボルともなっている会誌表紙のリニューアルを実現させる予定である。

1) 新臨技会誌

会誌発行は275号から278号までの年4回季刊発行を予定する。〔講義〕は学会・研修会等の内容を掲載し、受講できなかった会員のために適宜掲載していきたい。

また、講義の内容は部門長を通してすべての分野から投稿していただくように広報活動にも力をいれる。〔研修会報告〕は参加会員の協力により引き続き掲載し、情報提供や新人会員の研鑽の頁としたい。親睦広報に関しては〔ペンリレー〕〔新入会員紹介〕〔検査技師として～私の思い出～〕などの掲載で会員相互の親睦をはかり、だれもが参加できる企画を増やしていきたい。新規に「行事予定表」「施設紹介」等の掲載を予定している。

また本年度は会誌の表紙のリニューアルを第一の事業とする。HPを通じ広く会員から当技師会にふさわしいデザインを募集し、年度内の発行を実現させたい。

2) 新臨技ニュース

理事会議事録の掲載を中心に、組織活動、研修会案内、求人情報など速報性のある内容を順次掲載していきたい。発行は理事会終了後の月1回発行しているが、委員の努力により読みやすいレイアウトになっている。求人情報など早めに情報が入手でき好評である。今後も広く会員に読まれるよう工夫していきたい。

3) ホームページ

案内・各支部活動・研究班活動の内容がリアルタイムに閲覧できる。引き続き事務局との連絡を密にして、県内の会員に情報提供できるよう努めたい。

年間を通じた学術研究会日程・支部日程を掲載し様々な催事が共有できるよう速報性を持たせていく。ま

た日臨技や各種職能団体とリンクさせることでより拡大したHPを目指したい。また検査技師の仕事や検査内容も盛り込んだ「検査Q&A」のようなものを作成し、広く一般からもアクセスしてもらえるよう公共性を構築していきたい。

さらに、懸案事項となっているHPのデザインについても、HP委員の技術を結集して本年度リニューアル予定である。

平成22年度収支予算（案）

予算編集に当たって

今回の予算編集は平成21年度補正収支予算書を作成し、平成22年度の予算編成を行った。事業収入における助成金収入が増額したことなどによる合計150万円の補正を組み込んだ形とした。

昨今の経済状況の低迷により昨年同様、企業合併などによる賛助会員および広告数の減少が懸念されるが、今後も会員数の維持、増加に努めたい。

新公益法人化に向けて、会員サービスの向上に加え、更なる公益事業を充実させ予算の効率的運用を目指す。

以下に、予算編成の要点を示し、平成22年度予算の提案としたい。

収入について

1. 会費収入：正会員は昨年同様1200名とし、賛助会員は68口と減額。
2. 事業収入：会誌広告収入は会員名簿作成が無いので減額。
3. 雑収入：賛助会員の減少による協賛金などの減額。

支出について

1. 事業費：学術部活動費については、分野別会計を一般会計への繰入れによる増額。
 精度管理事業費は精度保障事業費と名称変更。
 負担金については東北技師会負担金を例年通りに減額。（昨年度は記念学会）
 総会費は例年同様とした。
 広報費については会誌発行費を会員名簿作成が無いため減額。
 組織強化費は小科目を支部強化費と組織広報費に分けた。
2. 管理費：昨年同様とした。
3. 特定預金支出：学会引当預金支出を今後の全国学会のため継続。

平成22年度収支予算書（案）

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

収入の部

大科目	中科目	小科目	平成22年度予算	平成21年度予算	差異	備考
会費収入			7,960,000	8,000,000	△ 40,000	
		正会員会費	6,600,000	6,600,000	0	1,200名
		賛助会員会費	1,360,000	1,400,000	△ 40,000	68口
事業収入			4,140,000	4,050,000	90,000	
		参加費収入	850,000	150,000	700,000	
		会誌広告収入	590,000	1,200,000	△ 610,000	会誌広告料
		助成金収入	2,700,000	2,700,000	0	日臨技，県医師会
雑収入			905,000	1,005,000	△ 100,000	
		預金利息収入	5,000	5,000	0	
		雑収入	900,000	1,000,000	△ 100,000	研究部門残金，協賛金等
	当期収入合計	A	13,005,000	13,055,000	△ 50,000	
	前期繰越収支差額		1,000,000	1,000,000	0	
	収入合計	B	14,005,000	14,055,000	△ 50,000	

支出の部

大科目	中科目	小科目	平成22年度予算	平成21年度予算	差 異	備 考
事業費			8,540,000	8,750,000	△ 210,000	
	学術研究費		3,990,000	3,600,000	390,000	
		学 会 費	1,000,000	1,000,000	0	第85回新潟県学会
		学術部活動費	1,900,000	1,400,000	500,000	研究部門活動費
		精度管理事業費	640,000	640,000	0	新潟県精度管理事業
		負 担 金	350,000	460,000	△ 110,000	東北技師会負担金
		雑 費	100,000	100,000	0	源泉徴収税等
	総会費		1,250,000	1,250,000	0	
		準 備 費	250,000	250,000	0	賞状作成費等
		運 営 費	1,000,000	1,000,000	0	セミナー開催費
	広報費		2,300,000	2,900,000	△ 600,000	
		会誌発行費	2,000,000	2,600,000	△ 600,000	会誌4号
		広報編集費	300,000	300,000	0	広報委員会等
	組織強化費		1,000,000	1,000,000	0	
		支部強化費	600,000	600,000	0	各支部助成金
		組織広報費	400,000	400,000	0	
管理費			4,900,000	4,900,000	0	
	事務費		2,390,000	2,390,000	0	
		備 品 費	200,000	200,000	0	パソコンソフト備品等
		消 耗 品 費	90,000	90,000	0	文房具, 封筒
		印 刷 費	300,000	300,000	0	各種案内コピー等
		通 信 費	500,000	500,000	0	案内発送, プロバイダー
		交 通 費	400,000	400,000	0	日臨技, 東北会議
		渉 外 対 策 費	300,000	300,000	0	関連団体, 支部対策
		報 酬 費	600,000	600,000	0	事務職員報酬等
	会議費	旅 費	600,000	600,000	0	理事会旅費
	事務所費		1,730,000	1,730,000	0	
		維 持 管 理 費	1,600,000	1,600,000	0	賃貸料, 電気代
		電 話 費	100,000	100,000	0	
		事 務 所 雑 費	30,000	30,000	0	
	雑費		180,000	180,000	0	
		交 際 費	150,000	150,000	0	関連団体慶弔費
		雑 費	30,000	30,000	0	
特定預金支出			300,000	300,000	0	
	会館建設引当預金支出		0	0	0	
	東北学会引当預金支出		300,000	300,000	0	第56回東北学会積立
予備費			265,000	105,000	160,000	
当期支出合計	C		14,005,000	14,055,000	△ 50,000	
当期収支差額	A - C		△ 1,000,000	△ 1,000,000	0	
次期繰越収支差額	B - C		0	0	0	

注1：短期借入金限度額1,000,000円

注2：債務負担額はない

平成21年度補正収支予算書（参考）

平成21年 4 月 1 日から平成22年 3 月31日まで

収入の部

大科目	中科目	小科目	平成21年度補正	平成21年度予算	差 異	備 考
会費収入			8,000,000	8,000,000	0	
		正会員会費	6,600,000	6,600,000	0	1,200名
		賛助会員会費	1,400,000	1,400,000	0	70口
事業収入			4,050,000	2,850,000	1,200,000	
		参加費収入	150,000	150,000	0	
		会誌広告収入	1,200,000	1,200,000	0	会誌名簿広告料
		助成金収入	2,700,000	1,500,000	1,200,000	日臨技, 県医師会
雑収入			1,005,000	705,000	300,000	
		預金利息収入	5,000	5,000	0	
		雑収入	1,000,000	700,000	300,000	研究部門残金等
当期収入合計 A			13,055,000	11,555,000	1,500,000	
前期繰越収支差額			1,000,000	1,000,000	0	
収入合計 B			14,055,000	12,555,000	1,500,000	

支出の部

大科目	中科目	小科目	平成21年度補正	平成21年度予算	差 異	備 考
事業費			8,750,000	7,250,000	1,500,000	
	学術研究費		3,600,000	3,210,000	390,000	
		学 会 費	1,000,000	850,000	150,000	第85回新潟県学会
		学 術 部 活 動 費	1,400,000	1,400,000	0	研究部門活動費
		精度管理事業費	640,000	400,000	240,000	新潟県精度管理事業
		負 担 金	460,000	460,000	0	東北技師会負担金
		雑 費	100,000	100,000	0	源泉徴収税等
	総会費		1,250,000	630,000	620,000	
		準 備 費	250,000	250,000	0	賞状作成費等
		運 営 費	1,000,000	380,000	620,000	セミナー開催費
	広報費		2,900,000	2,900,000	0	
		会 誌 発 行 費	2,600,000	2,600,000	0	会誌4号, 会員名簿
		広 報 編 集 費	300,000	300,000	0	広報委員会等
	組織強化費		1,000,000	510,000	490,000	各支部助成金
管理費			4,900,000	4,900,000	0	
	事務費		2,390,000	2,390,000	0	
		備 品 費	200,000	200,000	0	パソコンソフト備品等
		消 耗 品 費	90,000	90,000	0	文房具、封筒
		印 刷 費	300,000	300,000	0	各種案内コピー等
		通 信 費	500,000	500,000	0	案内発送, プロバイダー
		交 通 費	400,000	400,000	0	日臨技, 東北会議
		渉 外 対 策 費	300,000	300,000	0	関連団体, 支部対策
		報 酬 費	600,000	600,000	0	事務職員報酬等
	会議費	旅 費	600,000	600,000	0	理事会旅費
	事務所費		1,730,000	1,730,000	0	
		維 持 管 理 費	1,600,000	1,600,000	0	賃貸料, 電気代
		電 話 費	100,000	100,000	0	
		事 務 所 雑 費	30,000	30,000	0	
	雑費		180,000	180,000	0	
		交 際 費	150,000	150,000	0	関連団体慶弔費
		雑 費	30,000	30,000	0	
特定預金支出			300,000	300,000	0	
	会館建設引当預金支出		0	0	0	
	東北学会引当預金支出		300,000	300,000	0	第56回東北学会積立
予備費			105,000	105,000	0	
当期支出合計	C		14,055,000	12,555,000	1,500,000	
当期収支差額	A - C		△ 1,000,000	△ 1,000,000	0	
次期繰越収支差額	B - C		0	0	0	

注1：短期借入金限度額1,000,000円

注2：債務負担額はない

**平成22年度
社団法人新潟県臨床検査技師会
第1回通常総会議案書**

日 時：平成22年 5月30日（日）午後13時00分
場 所：朱鷺メッセ 201中会議室 新潟市中央区万代島6-1

次 第

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 来賓紹介
4. 表彰
5. 議長選出
6. 議長挨拶
7. 総会役員選出
 - 1) 資格審査委員選出
 - 2) 書記任命
 - 3) 議事録署名人選出
8. 資格審査報告
9. 議案
 - 第1号議案 平成21年度事業報告について
 - 第2号議案 平成21年度収支決算報告について
 - 第3号議案 平成21年度監査報告について
 - 第4号議案 支部提出議案について
 - 第5号議案 日臨技第2回定期総会提出議案について
10. その他
11. 総会役員および書記解任
12. 議長挨拶
13. 閉会の辞

平成21年度事業報告

平成21年度事業報告について

平成21年度は、世界同時不況の影響が色濃く残り、派遣切りやリストラが当たり前になり、新卒者の中には就職浪人を余儀なくされている人も多い。皮肉にも経済のグローバル化が、世界の強い関連性を証明し、今後各国の協調が重要なことを再認識させられた。また、この閉塞感を打開することを期待されて発足した鳩山政権も、問題山積で「言うは易し、行ふは難し」を見事に実践して見せている。子供手当や高速道路料金の上限定額化が実施された後の参議院選挙で、政権存続が試される。

医療に目を転じると、医師不足を背景に、病院の閉鎖、縮小や統廃合の話が後を絶たず、現在約8割の病院が赤字経営となっており、地方では更に顕著だと言われている。この4月の診療報酬改定では、繰り返されて来たマイナス改定が漸く下げ止まり、本体部分で+1.55%、検査実施料ベースで+0.38%の極めて微増だった。これが政府の方針転換なのか、2年後の診療報酬と介護報酬の同時改定時にその答えが示される。また、新たな医療提供の枠組みとして特定看護師制度も検討されており、われわれの業務にも直接関係するので注視して行かなければいけない。

この様に厳しい情勢ではあるが、当技師会は各支部や検査研究部門と連携をとりながら、学術部、広報部、総務部を中心に懸命に活動してきた。

昨年度は、5月に実施した第3回臨床検査セミナーをはじめPOCセミナーの開催に力を傾注した。その後、中越支部や下越支部、新潟支部にも協力いただき計4回実施した。自動化学会よりPOCコーディネータ認定点数の承認を得たこともあり、県外からも参加者を得た。POCは昨年度多用されたインフルエンザ検査キットや血糖検査に代表されるが、今後も技術開発により感度・特異性の高い製品が次々に上市され、我々の業務とさらに深く関わってくることを期待している。

公益事業については、10月4日に上越市で開催した第85回新潟県臨床検査学会に併せ市民公開講演や健康まつりを実施した。10月18日に開催された「ピンクリボンホリデー2009」では検査ブースを出展して参画した。12月5日県内4市で拡大実施したエイズ撲滅キャンペーン街宣活動、翌年3月14日には新発田市で、はじめて市民向けの「生活習慣病予防セミナー」も開催した。中越支部や新潟支部での健康まつりと同様に、何れも臨床検査、臨床検査技師の一般市民への認知度向上を図ることを目的とした。担当した方々の負担は大きいですが、短期間で効果が現われるものではないので、今後も事業を継続して行く必要がある。

平成20年度より開始された特定健診・特定保健指導に対応するため、日臨技と連携した臨床検査データ標準化事業は3年目となったが、県内4施設の基幹施設から全面的な協力を得て標準化事業を推進した。

さらに、基準範囲設定事業まで協力をお願いして恐縮している。

また、新潟県、県医師会より委託を受け実施している精度管理事業や、地道な登録作業に追われる生涯教育制度については、担当委員各位の努力に感謝したい。

検査研究部門も、会員ニーズに応えるため各部門が活発に活動した。会員の学術ニーズを収集するためのアンケート調査については、次年度の課題とする。

広報部においては、技師会ホームページは、ホームページ担当委員の継続的努力により、定期的な更新がなされ、各種案内の速報性、情報の公開性が維持された。県技師会誌についても、若年層会員のコーナー新設等、編集委員の献身的な努力により年4回の定期刊行することが出来た。

総務部は諸事業を陰でささえる地味な部門ではあるが、事務局員の尽力により会務が滞ることがなかったことに感謝したい。

以上、事業概要として報告する。

しかし、まだ様々な懸案事項を抱えており、多様化する会員の要望、負託に十分応えられたか検証し、今年

度への課題としたい。

【総務部】

1. 通常総会の開催

平成21年5月24日（日）朱鷺メッセ（301中会議室）において平成21年度第1回通常総会を開催し、平成20年度事業報告、同決算報告並びに監査報告を行った。

これらについて、特に質疑はなく、拍手で承認された。

続いて平成21年度事業計画案、同予算案を提案し、満場一致で承認された。

平成22年3月14日（日）、各支部持ち回りとなった予算総会を下越支部で開催し、平成22年度事業計画案、同予算案を提案し、満場一致で承認された。

2. 会務の執行体制

1) 職務分担

平成21年度は新役員により会務執行にあたったが、学術部、広報部、総務部の3部門に理事を配置し、会務を執行した。

2) 事務局体制

日臨技 JAMTIS を積極的に運用し、阿部事務員の努力により会員情報登録、変更等の迅速化がさらに推進された。

3. 諸会議の開催

- 1) 理事会 第1回 平成21年6月6日（技師会事務所）
第2回 平成21年8月8日（技師会事務所）
第3回 平成21年10月4日（技師会事務所）
第4回 平成21年12月12日（技師会事務所）
第5回 平成22年1月16日（技師会事務所）
第6回 平成22年2月13日（技師会事務所）
第7回 平成22年3月14日（新発田市生涯学習センター）

2) 常任理事会

定例常任理事会は従来どおり原則として毎月第2土曜日に開催し、平成21年度は4回開催した。

3) 三役会議

三役会議は技師会運営および各種案件協議のため2回開催した。

4) 各種委員会の開催

(1) 会誌編集委員会

新臨技会誌（季刊発行）第271号から第274号の編集業務のため、編集委員会を4回開催した。

(2) HP委員会

会員への早急な情報伝達手段としてのHPを積極的に運用するべく委員会を開催し、内容やレイアウト等の検討を行い会員から親しまれるHPをめざした。

(3) 検査研究部門委員会議

各検査研究分野の活動計画並びに運営等を協議するため1回開催した。

(4) 生涯教育研修委員会

生涯教育委員の業務も定着してきたことから、理事会や各支部生涯教育委員と連絡をとりながら研修会予定・参加者登録をおこない、特に会議は開催しなかった。

(5) 精度管理委員会

精度管理調査の事業計画、集計処理状況把握、検討会企画の協議のため5回開催した。

(6) 表彰委員会

各種表彰の対象者選考のため2回開催した。

4. 組織対策

1) 入会対策

前年度同様、各支部役員および各施設連絡責任者の協力により入会を勧めてきた。

本年度の新入会および再入会の会員は41名であった。会員数の減少傾向に歯止めがかかったが、今後も予断を許さない状況にある。なお、本会の正会員総数は1,224名（平成22年3月現在）である。

また、技師連盟入会者は各位のご協力により54名となった。臨床検査を取り巻く環境が厳しくなって行く中で、検査技師の業務拡大及び地位向上のために更に会員への勧誘を強化する。

2) 各支部との連携強化

各支部ともその地域性を生かした独自の活動が浸透し、年々活発化している。支部総会等に役員を派遣し、連携強化を図った。

5. 地域保健医療活動および公益事業

- 1) 一般公開としての第3回臨床検査セミナーを開催。（5月24日）
- 2) にいがた・骨髄バンクを育てる会、アイバンクへ賛助会員として参画
- 3) すこやかとしじびまつりへ中越支部が共催団体として参画（9月26・27日）
- 4) 糖尿病を知る集いへ中越支部が共催団体として参画（10月3日）
- 5) 三条市市民公開講座へ中越支部が共催団体として参画（10月17日）
- 6) ピンクリボンホリデーへ新潟県臨床検査技師会として参画（10月18日）
- 7) 第28回新潟健康福祉まつりへ新潟支部が参画（10月25日）
- 8) エイズ撲滅キャンペーンに各支部参画（12月5日）*チラシ配布
- 9) 世界エイズデー新潟2009のラジオ番組へ参画（12月6日）
- 10) 公開講演として生活習慣病予防セミナーを開催（3月14日）

6. 無料職業紹介事業

厳しい就職状況を反映し、求人数の減少が続いている。

求職登録者数0名 求人数7施設

7. 災害見舞い

該当なし

8. 表彰関係（敬称略）

- 1) 第27回篠川至賞（篠川至賞選考委員会を経て平成21年5月24日通常総会にて表彰）

学術奨励賞 渡 辺 靖（新潟支部）

学術奨励賞 山 まゆみ（中越支部）

- 2) 平成21年度会長表彰（平成21年5月24日、新臨技通常総会にて表彰）

(1) 特別功労者表彰

該当者なし

(2) 永年会員功労者表彰

該当者45名

- 3) 第50回東北医学検査学会表彰（平成21年10月31～11月1日）

功労賞 長谷川 利 春（下越支部）

学術賞 片 桐 智 美（中越支部）

学会学術賞 新潟県臨床検査技師会中越支部「検査災害ネットワーク構築4演題」

鈴 木 栄 治, 品 田 恭 子, 山 崎 まゆみ, 坂 西 清

4) 平成20年度生涯教育表彰（平成21年5月24日，新臨技通常総会にて表彰）

奨励賞 白川 千恵子（新潟支部）500点
 高野 操（新潟支部）470点
 片桐 智美（中越支部）450点
 新人賞 千味 和宏（新潟支部）300点

【学術部】

1. 学会

第85回新潟県臨床検査学会

日時：平成21年10月4日（日）

会場：新潟県立看護大学・新潟県立中央病院講堂

参加者：会員164名 非会員36名 健康まつり106名

○ 県立看護大学（メイン会場）

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場	キャンパス ストリート
	ホール①	ホール②	第1教室	第2教室	第1合同講義室	レセプション ホール	
10：00～11：00 一般演題	150名	150名	50名	50名	100名	健康 まつり	機 器 展 示
11：10～12：20 分科会	一般演題 (1～4)	一般演題 (5～10)			一般演題 (11～13)		
12：30～13：30 ランチョン	分科会1	分科会2	分科会3	分科会4	分科会5		
13：40～14：00 開場	公開講演 種田 仁氏						
14：00～15：30 公開講演	「野球が教えてくれたこと」 ～ガニ股野球道～						

○ 県立中央病院（ランチョン会場）

	第7会場	第8会場	第9会場
	講堂1	講堂2	講堂3
	30名	50名	30名
10：00～11：00			
11：10～12：20 分科会			
12：30～13：30 ランチョンセミナー	富士レビオ ランチョンセミナー	シスメックス ランチョンセミナー	イムコア ランチョンセミナー

○分科会

会場 1 (公開教育講演)

『睡眠時無呼吸症候群 (SAS) の診断と治療 - 簡易検査と睡眠ポリグラフィー検査 -』

講師：県立柿崎病院 院長 藤森 勝也

会場 2

『血清中 HDL コレステロールおよび LDL コレステロール測定の標準化について』

講師：デンカ生研株式会社 PC 部次長 松井 寛史

会場 3

『オカルト HBV 感染について』

講師：アボットジャパン株式会社 学術担当 上級顧問 飯沼 一茂

会場 4

『腫瘍マーカー，癌以外での高値と非特異反応』

講師：シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス(株) カスタマーサポート部 学術 荻原 貴裕

会場 5

『それでもグラム染色をせずに医者続けますか？』

講師：太田総合病院附属太田西ノ内病院・救命救急センター 石田 時也

○ランチョンセミナー

会場 1

『生活習慣病とアディポネクチン』

講師：富士レビオ株式会社 カスタマーサポートセンター 江川孝則

会場 2

『XE-5000および XT-4000i の体液測定における臨床的意義』

講師：シスメックス株式会社 北関東支店 萩原朋子

会場 3

これからの輸血検査～固相法がもたらす可能性～

『マイクロプレート法を用いた不規則抗体検出法』

講師：株式会社イムコア 小野 昌樹

『マイクロプレート法の自動化への応用』

講師：株式会社イムコア 稲田 信彦

一般演題一覧

会場	時間	演 題 名	発表者	施 設 名
第 1	10:00	人間ドック乳がん検診における乳房超音波検査 ～カテゴリー分類に基づいた統計より現状と問題点～	金子 玲子	岩室健康増進センター
第 1	10:10	検査部における内部研修制度への取り組み	佐藤 未来	新潟大学医歯学総合病院
第 1	10:20	肺拡散能力 (DLco) のヘモグロビン (Hb) 濃度補正による比較検討	加藤 靖彦	新潟大学医歯学総合病院
第 1	10:30	(社)新潟県臨床検査技師会中越支部の公益事業におけるこれまでの実績と成果について	坂西 清	厚生連魚沼病院
第 2	10:00	細胞表面突起を有し Splenic lymphoma with villos lymphocytes (SLVL) と考えられた B 細胞腫瘍の一例	近藤 善仁	長岡中央総合病院
第 2	10:10	全自動尿有形成成分分析装置 U-SCANNER II 導入後の運営状況	山田 恭子	新潟県立中央病院
第 2	10:20	当院における Project 8 の取り組み ～全糖尿病患者の HbA1c を 8%以下に～	中澤 光夫	新潟県立小出病院
第 2	10:30	テキストマイニングを用いた社会的難解医療用語の調査 (Ⅲ) ～患者用クリティカルパスの問題傾向と対策～	山口 勇司	医療法人崇徳会 地域総合サービスセンター
第 2	10:40	病理組織標本におけるコンタミネーション組織の分子生物学的識別法	長谷川秀浩	長岡中央総合病院
第 2	10:50	アディポネクチンとメタボリックシンドロームの関連について	中山 卓也	労働衛生医学協会
第 5	10:00	当院における15年間の病原大腸菌 (O 型別) の検出状況	田村 優子	長岡赤十字病院
第 5	10:10	アメーバ性大腸炎の一症例	栗林 篤史	済生会新潟第二病院
第 5	10:20	血液培養陽検体における分離菌とグラム染色との一致率について	千味 和宏	済生会新潟第二病院

座長一覧

会 場	時 間	氏 名	施 設 名
第 1 会場 (1～3 題)	10:00～10:40	金子 勝海	糸魚川総合病院
第 2 会場 (1～3 題)	10:00～10:30	稲田 新一	新潟労災病院
(4～6 題)	10:30～11:00	近藤 正	上越総合病院
第 3 会場 (1～3 題)	10:00～10:30	山田美恵子	県立中央病院

○一般公開講演 14:00～15:30

講師:種田 仁 (たねだひとし)

『野球が教えてくれたこと』 ～ガニ股野球道～

2. 検査研究部門

検査研究部門は、組織の改編を行った。これまで14研究分野体制で活動して来たが、精度管理分野は新臨技委員会と重複していること、情報管理分野は管理運営分野に活動引き継ぐ形で廃止した。生理機能部門は一つの単位による活動であったが、活発なニーズに対応するために機能検査分野と画像検査分野を設けた。また、免疫分野から免疫血清分野に、遺伝子分野から遺伝子・染色体分野、疫学分野から疫学・公衆衛生分野、輸血分野から輸血・移植分野にそれぞれ分野の名称を改定した。その結果、組織は生物化学分析部門、生理機能検査部門、形態検査部門、感染制御部門、移植検査部門、総合管理部門の6部門の中に、臨床化学分野、免疫血

清分野，遺伝子・染色体分野，機能検査分野，画像検査分野，細胞分野，病理分野，一般検査分野，血液分野，微生物分野，疫学・公衆衛生分野，輸血・移植分野，管理運営分野となり13分野体制に整理した。分野が受け持つ学術範囲や内容を明文化し内規を充実させ組織の改編を実施したことで，学術活動をより活発に運営できる体制に強化された。

平成21年度は役員の改選の年にあたり，免疫血清分野長に鈴木英明氏，機能検査長に齋藤修氏，画像検査分野長に桑原喜久男氏，疫学・公衆衛生分野長に昆美也子氏，輸血・移植分野長に笠井恵美子氏の5人の分野長が新任した。研修会は合計26回開催され，参加人数は会員が1,290名，非会員が245名，合計数は1,535名におよび，昨年度に比べ1.6倍に参加者が増加し，特に生理検査部門や輸血・移植分野，一般検査分野で顕著な大勢の参加があった。また，生理検査部門や輸血・移植分野，微生物分野では実習形式の研修会を企画し，若手や初心者，認定技師取得希望者のための具体的な技術指導が行われ好評を得た。

新臨技誌への研修会参加報告の掲載は好評であり，研修会で学んだ内容をもう一度整理することで充実した理解を得るための一助と，出席できなかった会員への伝達講習的な意味合いを併せ持つことができた。研修会開催予定日の電子メール速報案内を，分野企画だけでなく支部研修会や登録団体研究会などにも拡大した。日程調整をきめ細かく行えることで，多くの研修会や研究会に参加できる機会が増加したと思われる。今年度の目標であった学術活動に対する会員へのアンケート調査は，来年度の課題として先送りになった。

検査研究部門主催の研修会まとめ

領域	開催日	生涯教育点数	参加人数		研修会内容
			会員	非会員	
臨床化学	平成21年 4月18日	専門 20	28	24	1) 血漿蛋白の臨床化学 自治医科大学臨床検査医学教授 山田俊幸 2) HDLの基礎と臨床 順天堂大学医学部臨床検査医学教授 三井田孝 会場：新潟大学医学部 (日本臨床化学会甲信越支部新潟分科会共催)
	平成21年 5月16日	専門 20	27	4	1) ヘモグロビン A1c の国際標準化とわが国の対応 慶應義塾大学病院中央臨床検査部 石橋みどり 2) ノルディア N HbA1c の有用性 3) GA 測定の話 積水メディカル 阿部聡子 会場：県立がんセンター新潟病院講堂
	平成21年 11月28日	専門 20	32	5	1) CKD と eGFR カイノス学術部 岩崎満 2) 推算 eGFR を導入して 新潟県労働衛生医学協会新潟ウェルネス 白井彰 3) 高感度クレアチニンの性能評価と eGFR 新潟大学医歯学総合病院臨床支援部 伊藤正行 4) eGFR に必要なクレアチニンの精度と eGFR の不確かさ 下越総合健康開発センター 高口功 会場：新潟大学医歯学総合病院 (生物試料分析科学会新潟分科会共催)

免疫・血清	平成21年 11月28日	専門 20	10	98	最近の感染症とその対策 NPO 法人バイオメディカルサイエンス研究会 理事長 小松俊彦 会場：北里大学保健衛生専門学院 (微生物分野共催)
遺伝子	平成21年 10月10～ 11日	専門 30	33	6	1) リンパ系腫瘍の染色体・遺伝子の解析とその臨床的意義 新潟大学保健管理センター 准教授 青木定夫 2) 子宮頸部病変からの HPV-DNA の検出と型別同定 長岡中央総合病院病理部 長谷川秀浩 3) 分子標的治療と遺伝子検査の最近の話題～肺癌と大腸癌 治療選択としての遺伝子検査～ ロシュ・ダイアグノスティックス 三好康弘 4) インフルエンザウイルスについて ～インフルエンザ検査の理解を深めるために～ 新潟県長岡地域振興局検査課 渡邊香奈子 5) 新型インフルエンザ検査の現状について 新潟県保健環境科学研究所 田沢崇 6) 当院における PCR 法によるウイルス感染症検査 新潟市民病院病理検査課 清野俊秀 7) 肺癌の EGFR 遺伝子変異の検出－細胞診検体を中心に－ 長岡赤十字病院病理部 高頭秀吉 会場：新潟大学医学部 (東北臨床検査技師会合同)
機能検査 (生理機能検査部門)	平成21年 5月30日	専門 20	84	0	初級者セミナー (モニター心電図のよみ方) 1) 心電図検査とトレッドミル検査における検査技師の役割 新潟こばり病院 斉藤修 2) 良い脳波記録を行うために 西新潟中央病院 土屋邦子 3) 超音波検査を自分のものにするための方法－心エコーを 中心に－ 済生会三条病院 桑原喜久男 4) 腎動脈エコーの意義と検査の進め方 新潟大学医歯学総合病院 小林清子 5) 生理機能検査担当者向け資格試験について 水原郷病院 渡辺博昭 会場：新潟大学医学部

機能検査 (生理機能検査部門)	平成21年 12月6日	専門 20	172	20	<p>心電図セミナー</p> <p>1) 演題発表</p> <p>2) 活動電位・心電図波形の成り立ち・それぞれの波形が意味するものは？ 新潟大学医学部保健学科准教授 池主雅臣</p> <p>3) ペースメーカ心電図－これは正常か？ペースメーカ不全か？</p> <p>4) 心電図の虚血性変化とその対応 長岡赤十字病院集中治療部長 江部克也</p> <p>5) 不整脈の機序と現場での対応 立川総合病院循環器脳血管センター副所長 佐藤政仁</p> <p>6) プルガタ型心電図はどう扱うか？ 新潟大学医学部第一内科助教 古嶋博司</p> <p>会場：新潟大学医学部 有壬記念館</p>
画像検査 (生理機能検査部門)	平成21年 7月25日	専門 20	45	3	<p>指導のためのナビゲーション</p> <p>1) 生理機能検査のOJT (On the Job Training) 立川総合病院 山崎まゆみ</p> <p>2) 健診業務におけるスタッフの育成 岩室健康増進センター 金子玲子</p> <p>3) 超音波検査におけるスタッフ育成法 群馬県立がんセンター 竹内 浩司</p> <p>4) 指導者のための超音波検査－教えることで自らも学ぶ相互啓発の形－</p> <p>1. 心臓超音波検査 新潟病院 中島哲</p> <p>2. 腹部超音波検査 群馬県立がんセンター 竹内浩司</p> <p>会場：新潟大学医学部</p>

画像検査 (生理機能検査部門)	平成21年 8月22～ 23日	専門 30	135	0	<p>超音波検査セミナー '09</p> <p>1) 初心者限定エコー実技セミナー (腹部: 健診スクリーニング・上腹部臓器, 心エコー: ルーチン検査に必要な断面・計測方法)</p> <p>2) 超音波基礎講座 アロカ 武藤和彦</p> <p>3) 腹部・体表超音波領域 (腹部・乳腺・甲状腺領域, 症例をどのようにして読むか, 話題提供) 国立埼玉病院 岩下浄明 群馬県立がんセンター病院 竹内浩司 国立東京医療センター 武山茂 アロカ, GE 横河メディカルシステム, フクダ電子</p> <p>4) 心エコー領域 (依頼から考える心エコー～症状編, 話題提供)</p> <p>1. 息切れ・呼吸苦 群馬県立心臓血管センター 戸出浩之</p> <p>2. 胸痛 心臓血管研究所附属病院 種村正</p> <p>3. 動悸・不整脈 群馬県立心臓血管センター 岡庭裕貴</p> <p>4. 心筋症 群馬県立心臓血管センター 岡庭裕貴</p> <p>5. 人工弁について学ぼう 心臓血管研究所附属病院 種村正</p> <p>6. 心エコー報告書の書き方 三井記念病院 遠田栄一 東芝メディカルシステムズ, 日立メディコ, 持田シーメンスメディカルシステム</p> <p>5) 全身がわかる超音波検査のチェックポイント</p> <p>6) 心エコー Q & A</p> <p>会場: 県央地区地場産業振興センターメッセピア</p>
	平成22年 1月16日	専門 20	13	3	<p>超音波検査士試験対策セミナー</p> <p>超音波検査士認定試験問題集第2版, 3版の問題にお答えします</p> <p>会場: 立川総合病院</p>
	平成22年 3月13日	専門 20	62	4	<p>下肢静脈エコーセミナー</p> <p>1) 症例提示</p> <p>2) 下肢静脈を短時間で診断するコツと注意点 埼玉医科大学国際医療センター 中央検査部 山本哲也</p> <p>会場: 立川総合病院</p>

細胞	平成21年 10月3日	専門 20	41	12	1) ベセスダシステム2001における問題点及び当院の運用状況 2) ASC-US・ASC-Hの標本鏡検, 解説 八戸市民病院臨床検査科病理 奥沢悦子 助言者: 県立がんセンター新潟病院病理部 本間慶一 済生会新潟第二病院病理科 石原法子 会場: 県立がんセンター新潟病院 (細胞検査士会合同)
病理	平成21年 7月4日	専門 20	30	6	1) 東北臨技形態部門病理・細胞診研修会報告 江東微生物研究所新潟支部 猪口純子 2) 脱灰標本作製法 新潟大学第二病理学教室 大谷内健二 3) 光触媒によるホルムアルデヒド分解装置について 盛和工業 山本雅章 4) 新潟市民病院の環境対策の現状 新潟市民病院病理検査科 樋口忠博 5) ホルマリン溶液の管理と環境対策の現状 日本医科大学千葉北総病院病理部 清水秀樹 会場: 新潟大学医歯学総合病院 (新潟病理技術研究会共催)
	平成21年 11月14日	専門 20	15	5	1) ヒスト・テック クーリエを用いたパラフィンブロック の冷却と効果 サクラファインテックジャパン 坂田輝子 2) 大腸癌とEGFR 新潟大学教育研究院分子診断病理学分野教授 味岡洋一 会場: 新潟大学医歯学総合病院
一般検査	平成21年 6月6日	専門 20	37	2	尿沈渣セミナー (初級編) 1) 手技を学ぶ (顕微鏡の使用法・調整法・尿定性試験) 2) 細胞成分を学ぶ (血球類と上皮細胞の分類・特徴の説明・顕微鏡実習) 会場: 新潟大学医学部
	平成21年 7月11日	専門 20	49	2	寄生虫検査セミナー 1) 寄生虫講義 2) 検体の取扱い方と検査の進め方 3) 実習 (虫体の特徴と虫卵観察) 東海大学医学部附属大磯病院臨床中央検査科 野崎司 会場: 新潟大学医学部

一般検査	平成21年 10月3日	専門 20	58	7	慢性腎臓病（CKD:Chronic Kidney Disease）をご存知ですか？ 1）慢性腎臓病（CKD）の概要 シスメックス 萩原朋子 2）尿検査から知る慢性腎臓病～腎障害と尿検査の進め方～ 東京大学医学部附属病院検査部副技師長 宿谷賢一 会場：新潟大学医学部
血液	平成21年 6月27日	専門 20	34	2	1）止血検査とDICの検査診断 シスメックス 宮本和典 2）血小板減少症の鑑別診断 新潟大学医歯学総合病院輸血再生医療部門 教授 布施一郎 会場：長岡赤十字病院
	平成21年 11月28日	専門 20	44	3	1）血液像自動分析装置 HEG-Lのご紹介 シスメックス 萩原 朋子 2）東北臨床検査技師会血液検査部門の活動紹介－末梢血標本の染色性評価－ 東北大学病院診療技術部検査部門 藤巻 慎一 3）白血球像の見方・考え方 長岡赤十字病院医療技術部検査課 山田 隆 会場：新潟大学医学部
微生物	平成21年 9月12日	専門 20	30	3	第7回微生物検査基礎技術研修会(グラム染色の講義と実習) 1）グラム染色の基礎 日水製薬 笈西一樹 2）実習「グラム染色の実技」 ハッカー変法，バーミー法，フェイバー法での染色・鏡検 会場：日本歯科大学新潟歯学部
	平成21年 12月12日	専門 20	59	3	グラム染色 1）微生物のフルオートメーション化を提案します －自動グラム染色装置 PREVI Color Gram の紹介－ シスメックス 北浦芳之 2）グラム染色標本の作製法と観察のポイント 公立玉名中央病院 永田 邦昭 3）症例から学ぶグラム染色結果の解釈法 公立玉名中央病院 永田 邦昭 会場：三条・燕地域リサーチコア
疫学・公衆衛生	平成22年 2月27日	専門 20	28	6	検査の立場からインフルエンザの疫学を考える 新潟県保健環境科学研究所ウイルス科長 西川眞 会場：東横イン ガレソンホール

輸血・移植	平成21年 6月20日	専門 20	68	16	1) ベーシックコース－血液型の異常反応に対する考え方－ 2) アドバンストコース －抗体同定の基礎と応用 (DAT を含めて)－ オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス 古杉光明 会場：県立がんセンター新潟病院
	平成21年 9月27日	専門 20	54	2	輸血検査実技講習会 (試験管法による輸血検査実習) ・超初級コース：血液型、不規則抗体スクリーニング、クロス スマッチ、凝集の見方、試験管の振り方等 ・初級コース：超初級の内容に、不規則抗体同定検査 ・中級、上級コース：血液型、不規則抗体検査、抗体解離試 験、クロススマッチを実施し総合的に輸血検査の理解 会場：北里大学保健衛生専門学院
	平成22年 1月23日	専門 20	83	6	1) 輸血に関する素朴な疑問 Q&A 2) 輸血検査に必要な免疫学の基礎知識 北里大学保健衛生専門学院 鈴木英明 3) 科学としての輸血検査 東北大学未来医工学治療開発センター 伊藤経夫 会場：県立がんセンター新潟病院 (免疫血清分野共催)
管理・運営	平成21年 12月12日	専門 20	19	3	1) プロポーザル方式の導入による改善 新潟県立がんセンター 新潟病院 芳賀 博子 2) 私が思うリーダー的役割について 厚生連魚沼病院 反町彰志 3) 検査の今を考える 崇徳会長岡西病院 山崎恒 会場：新潟大学医歯学総合病院

3. 精度管理事業

新潟県から新潟県医師会への委託事業である本事業は、平成21年度で30回目を数えた。技師会としても積極的に当事業に協力し、集計、解析を含めた実務の中心的役割を果たすとともに、臨床検査の精度向上に努めた。

本事業を担当する精度管理委員会は昨年度と同じく、学術及び、関係分野の臨床化学検査、情報管理、微生物検査さらに、血液検査 (血球計数) 実施のため血液検査分野から選出された若干名で構成された。委員会は全体会議と臨床化学担当の分科会を含め計5回開催し、実施計画及び配送準備、データ集計、解析を実施した。

本年度の実施項目は微生物検査の同定に技師会が担当する一般菌の同定を新規に追加し、1菌種について同定・感受性を実施し、新潟県保健環境科学研究所が担当する2菌種の同定を合わせて実施した。さらに本年度は血球計数検査を加えた。臨床化学は昨年同様27項目であった。臨床化学における、評価対象項目は昨年度に加え Ca を新規評価項目とし、初年度であることより参考評価とした。用いている調査試料が市販管理試料であるため、反応性の問題は避けて通れない。本年度も LDL コレステロールとクレアチニンに問題が生じたため、それぞれ一部参考評価とした。なお、ドライケミストリー法についても評価を行った。委員会では検討会で質問があった事項や反応性の問題などについて、検討を加え検討会で報告を行い、調査のみではなく検査情

報を提供している。

昨年度から集計作業の迅速化、誤登録防止を目的に臨床化学のみではなく、微生物調査についても調査結果報告用ファイルを Web よりダウンロードする方法を実施した。施設の事情に合わせて用紙での報告も受け付けたが、参加総施設数162施設のうち、Web 利用158施設、用紙報告 4 施設であった。

精度管理調査事業の内容（実施要項）は以下のとおりである。

1) 臨床化学

測定日：平成21年11月4日（火）より施設に配布し、到着次第速やかに実施。

測定項目：Glu, TG, TC, HDL-C, LDL-C, Cre, UA, γ -GTP, AST, ALT, ALP, LD, HbA1c, CK, AMY, Na, K, Cl, 尿素窒素, ChE, Ca の21項目。

調査のみとして無機リン, 総蛋白, 総ビリルビン, Alb, Fe, CRP, の6項目。

サンプル：以下の4種類

（臨床化学用）

人凍結管理血清サンプル I, II

（HbA 1 c 用）

人生赤血球サンプル A, B

（ドライケミストリー用）

人プール血清 DRY I, II

報告締め切り：平成21年11月12日（木）必着。

2) 微生物検査

検査日：平成21年11月4日（火）より施設に配布し、到着次第速やかに実施。

検査項目：試料中の病原菌の同定（血清型別実施可能な施設は必要に応じて実施）

感受性検査

サンプル：同定検査 A, B, C の3種類。

感受性検査 C の1種類。

報告締め切り：平成21年11月16日（月）必着。

3) 血液検査

検査日：平成21年11月4日（火）より施設に配布し、到着次第速やかに実施。

検査項目：CBC 5 項目（ヘモグロビン, 白血球数, 血小板数, 赤血球数, ヘマトクリット）

サンプル：市販管理血球 C の1種類

報告締め切り：平成21年11月12日（木）必着。

集計概略は総参加施設数162施設、臨床化学144施設（内 HbA 1 c は115施設）、微生物検査同定76施設、感受性検査61施設、血液検査142施設であった。

臨床化学検査については、データ集計後12月22日（月）に施設別報告書を各施設に送付した。本年度も評価対象項目のすべてのサンプルにおいて評価を行ない、ドライケミストリー法も独自の評価基準で評価したが、使用施設数が5未満の測定方法については評価対象外とし、「A」は許容限界内、「B」は許容限界の2倍以内、「C」は許容限界の2倍超とした。

今年度も精度管理の意識向上を目的に施設名を公表する事とした。最終集計結果については新潟県臨床精度管理協議会において検討し昨年同様臨床検査精度管理調査検討会（報告会）は生物検査技術職員研修会と合同で平成22年3月23日に開催され、県知事名の参加証が交付された。

平成19年度より、日臨技データ標準化事業が始まり、本年度も基幹施設（新潟大学医歯学総合病院、県立が

んセンター新潟病院，厚生連刈羽郡総合病院，新潟県労働衛生医学協会）での活動が順調に進行した。合わせて，今年度は日臨技において基準範囲設定の事業が行われ，本県も積極的に参加した。測定は標記基幹施設で行い，参加ボランティアは県内の検査技師ならびに学生で総数285名であった。なお，日臨技では都道府県臨床検査データ標準化事業への助成金支出が承認され，平成22年3月に都道府県技師会（40000円）と参加基幹施設の標準化事業と基準範囲設定事業それぞれ（各1施設30000円）に助成が行われた。ご協力頂いた，施設，ならびに各位に感謝申し上げます。集計結果は平成22年9月頃を予定している。

4. 生涯教育研修制度

各検査研究部門及び各支部が数多くの研修会を実施し，前年度と比べ研修会参加会員数の増加が見られた。特に新卒者・初心者を対象とした卒後教育や資格取得を目指した専門性のある研修会が多く行われた。また，新公益法人化に向けたボランティア活動や臨床検査の普及のための啓蒙活動などを広めていく中で，生涯教育行事登録を行い活動を支援した。

【広報部】

新臨技会誌の発行，新臨技ニュース，ホームページを通して県内各支部の情報や学会，研修会の日程等々，タイムリーな情報を伝えられるよう活動してきた。東北学会に全精力を傾けた昨年に比較し，本年度は地道に編集やHPの充実に努めてきたが，懸案事項となっていた会誌表紙のリニューアル・ロゴマークの作成・HPの更新等については，本年度だけでは実現できなかったため，来年の完成を目標として取り組みたい。慌しく，忙しい中でも担当者一人一人が責任感をもって会誌の発刊，HPの充実に努力してきた。以下に本年度の活動を報告する。

（1）新臨技会誌

年4回 季刊発行（271号から274号まで）

〈平成21年度会誌掲載内容〉

第271号 平成21年4月1日

〔研修会参加報告〕

形態検査部門病理検査分野研修会……………丸山富士雄
平成20年度東北臨床検査技師会生物化学分析部門・遺伝子検査分野研修会 ……丸山佐和子
平成21年度東北臨床検査技師会輸血・移植検査部門研修会 ……菊地 真弓
新潟県感染制御部門微生物分野研修会……………堀川 良則
特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者講習会……………大谷内健二
おもしろ尿沈渣セミナー……………朝賀 朋子
感染制御部門疫学領域研修会……………加藤美和子

〔精度管理委員会報告〕

精度管理委員会報告……………伊藤 耐子

〔ベンリレー〕……………齊藤 優紀

〔検査技師として～私の思い出～〕

検査技師として働き始めてから……………麻生さくら
検査技師として……………神田 真志
検査技師として～私の思い出～……………坂爪 香文
検査技師として～私の思い出～……………山崎 実里

〔会 報〕平成21年度（社）新潟県臨床検査技師会第1回通常総会議案書

第49回東北医学検査学会実績詳細報告書
 第49回東北医学検査学会収支決算報告書
 平成20年度（社）新潟県臨床検査技師会第2回通常総会議案書
 平成20年度（社）新潟県臨床検査技師会第2回通常総会議事録
 会員からのご意見・ご要望
 2月常任理事会議事録
 第5回理事会議事録
 会員消息
 新臨技会日誌

第272号 平成21年7月1日

〔あいさつ〕平成21年度にあたり……………松田 和博
 〔講義〕CKDと尿検査……………山本 邦夫
 CKD（慢性腎臓病）と腎機能検査－GFR推算式とシスタチンC－……………齊藤 憲祐
 〔研修会報告〕
 生物分析部門免疫分野研修会……………高口 功
 移植検査部門輸血・移植分野研究会……………丸山由香利
 〔精度管理委員会報告〕
 日臨技臨床検査データ標準化事業代表者会議報告および
 基準範囲設定ご協力のお願ひ……………伊藤 耐子
 〔ペンリレー〕……………吉沼 恵美
 〔検査技師として～私の思い出～〕
 検査技師として～私の思い出～……………朝倉まどか
 検査技師として……………小林寿美枝
 早かった3年間～技師として社会人として～……………塩尻 拓也
 検査技師として～私の思い出～……………東條 正子
 〔案内〕第85回新潟県臨床検査学会案内（予告）・演題申込要領
 第25回「緒方富雄賞」候補者推薦のお願い
 第1回京都臨床化学サマー研修会開催のお知らせ
 一級臨床検査士資格認定試験案内
 〔会報〕平成20年度監査報告
 第6回理事会議事録
 会員消息
 新臨技会日誌

第273号 平成21年10月1日

〔講義〕微生物検査 適切な検体保存とやれること……………菅原 芳秋
 日当直者のための心電図……………齋藤 知子
 輸血検査【血液製剤の取り扱い】……………瀬下 敏
 〔研究1〕ジフテリア毒素非産生C.diphtheriaeが検出された3症例の検討……………本間 康夫
 〔案内〕第85回新潟県臨床検査学会
 〔研究2〕第85回新潟県臨床検査学会一般演題抄録

〔弔 辞〕 鈴木信一さんを偲んで……………	恩田 宏夫
〔受賞者のことば〕	
篠川至賞を受賞して……………	渡辺 靖
篠川至賞を受賞して……………	山崎まゆみ
生涯教育新人賞を受賞して……………	千味 和宏
〔研修会参加報告〕	
専門外のための卒後教育研修会……………	坪谷 貴治
輸血・移植分野研修会……………	笹岡 悠一
〔精度管理委員会報告〕	
平成20年度血球計数検査精度管理調査報告……………	古金 吉則
〔認定技師制度紹介〕	
認定一般検査技師を受験して……………	小林ユミ子
〔ペンリレー〕……………	朝倉まどか
〔検査技師として～私の思い出～〕	
検査技師として～私の思い出～……………	田中奈緒美
検査技師として～私の思い出～……………	小池美知子
検査技師としての私の思い出……………	藤田 陽介
〔会 報〕 平成21年度第1回通常総会議事録	
4月常任理事会議事録	
第1回理事会議事録	
7月常任理事会議事録	
新入会員紹介	
会員消息	
新臨技会日誌	
第274号 平成22年1月1日	
〔あいさつ〕 新年ごあいさつ……………	松田 和博
〔講 義〕 睡眠と高血圧, 糖尿病……………	藤森 勝也
こころとからだにやさしい介護……………	西本 円
〔受賞者のことば〕	
第50回東北医学検査学会 奨励賞を受賞して……………	片桐 智美
第50回東北医学検査学会 学会学術賞を受賞して……………	坂西 清
〔新潟県臨床検査学会参加報告〕	
第85回新潟県臨床検査学会に参加して……………	大木 翔平
第85回新潟県臨床検査学会に参加して……………	佐々木伸輔
第85回新潟県臨床検査学会に参加して……………	手塚謙一郎
第85回新潟県臨床検査学会に参加して……………	山川 栄一
〔公益活動参加報告〕	
すこやかともしびまつり2009に参加して……………	梅沢 直美
すこやかともしびまつりに参加して……………	関 季代美
糖尿病を知るつどいに参加して……………	齋藤 優紀
「平成21年度糖尿病を知るつどい」参加報告……………	松雪 咲身

三条市民公開講座に参加して……………岡 真由美
三条市民公開講座「知って得する！糖尿病」に参加して……………桐生 祥子

〔研修会報告〕

形態検査部門病理検査領域研修会……………坂爪 香文
第7回微生物検査基礎技術研修会……………市村 正道
下越地区研修会……………山田 聡子
輸血・移植分野研修会……………平原 学
輸血・移植分野研修会……………矢崎 光
形態検査部門一般検査分野研修会……………佐藤 麻実
平成21年度新潟県細胞検査士会・新潟県臨床検査技師会
形態検査部門細胞検査分野合同研修会……………神田 真志
形態検査部門病理検査分野研修会……………大谷内健二

〔ペンリレー〕……………若林 星華

〔検査技師として～私の思い出～〕

検査技師として～私の思い出……………宇賀真喜子
検査技師として～私の思い出……………繁野 美紀
検査技師として～私の思い出……………高橋 恵
検査技師として～私の思い出……………中村 伸明

〔会報〕第2回理事会議事録

9月常任理事会議事録

第3回理事会議事録

11月常任理事会議事録

新入会員紹介

会員消息

新臨技会日誌

〔案内〕生活習慣病予防セミナー・平成21年度第2回通常総会

平成22年度会費納入のお願い

【支部研究会等】

上越支部

I：学術活動

1) 秋季研修会

第85回新潟県臨床検査学会が上越支部担当のため、研修会と兼ねることとした。

2) 春季研修会

日時 平成21年3月6日(土) 14:00～

会場 高陽荘

内容 ・特別講演

「みんなの一口が健康と環境を守る」

～からだ&ところは食べものから出来ている～

講師 佐々木 亜子 (JA えちご上越 管理栄養士)

・教育講演

「子宮頸がん と HPV-DNA 検査」

講師 金子 雅一（ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社）

3) 平成21年度上越支部通常総会

日時 平成21年3月6日（土）16：30～

会場 高陽荘

II：研究班活動

1) 検体検査研究班

日時 平成22年1月19日（火）

会場 新潟労災病院

内容 「敗血症検査アップデート」

講師 横山 僚（シスメックス株式会社）

2) 形態検査研究班

日時 平成21年10月28日（水）

会場 新潟労災病院

内容 「検体由来による血球計数装置の誤差要因」

講師 秋葉 俊一（シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社）

3) 生理検査研究班

日時 平成21年7月28日（火）

会場 県立中央病院

内容 「ペースメーカー心電図について」

講師 佐藤 広祐（フクダ電子）

III：地域保健活動

1) 上越医師会学術講演会

日時 平成21年11月17日 19：00～

会場 ロワジールホテル上越

内容 「マクロライドの抗菌薬としての作用と新作用について」

非結核製抗酸菌症治療を含めて

講師 迎 寛（産業医科大学）

2) 上越糖尿病内分泌研究会

第38回 日時 平成21年6月9日 18：30～

会場 やすね

第39回 日時 平成21年12月10日 18：30～

会場 上越医師会館

3) 上越循環器談話会

第31回 日時 平成21年11月21日 14：30～

会場 やすね

4) 上越医療関連感染症研究会

日時 平成21年6月29日 18：45～

会場 デュオ・セレッソ

5) 上越地域家庭医療研究会

第2回 日時 平成21年7月14日

会場 ホテル・センチュリーイカヤ

第3回 日時 平成22年2月27日

会場 上越市民プラザ

IV：組織活動

1) 支部レクリエーション

日時 平成21年11月30日(月) 18:30～

会場 上越レジャーランボール

内容 上越支部親善ボウリング大会

2) AIDS撲滅キャンペーン

日時 平成21年12月5日(土) 14:00～

会場 ジャスコ・アコーレ上越店

内容 チラシ・ポケットティッシュ・絆創膏の配布による啓蒙活動

V：支部役員会

毎月1回の役員会を開催(県学会開催前に臨時役員会を開催)

平成21年度(平成21年4月～平成22年3月)は、14回の開催であった。

中越支部

・H20年度中越支部講演会：H21年3月14日(土) 生涯教育 基礎20点

会場：立川メディカルセンター 多目的施設きぼう講堂3F

講演会：「これであなたも肩こり解消！」

講師：医療法人立川メディカルセンター悠遊健康村病院 立川厚太郎 先生

参加者 79名(会員64名 非会員15名)

・H21年度中越支部通常総会 H21年3月14日(土) 生涯教育 基礎30点

会場：立川メディカルセンター 多目的施設きぼう講堂3F

議長：水沢 直人(立川メディカルセンター 立川総合病院)

参加者 51名

・中越支部フォーラム H21年7月4日(土) 生涯教育 基礎20点

会場：厚生連長岡中央総合病院 2階講堂

メインテーマ “臨床検査を取り巻く環境”

講演Ⅰ・Ⅱ 『統計学・あなたの統計、本当に正しいですか？ 基礎編・実践編』

講師 北里大学保健衛生専門学院 小林 浩二 先生

参加者 74名(会員71名 非会員3名)

・ふれあい研修会 H21年11月7日(土)～8日(日) 14:00～翌日12:00

会場：北里大学保健衛生専門学院

テーマ「卒後教育 ～検査データから読む臨床～」 生涯教育 基礎20点

1日目：講義：一般検査の基礎 講師 長岡中央総合病院 村山由美子 先生

細菌検査の基礎 講師 長岡赤十字病院 星 周一郎 先生

参加者 58人(会員38人 賛助会員10人 学生10人)

2日目：第23回POCセミナー 生涯教育 専門20点

講義Ⅰ：「ドライケミストリーの測定原理と方法」

講師：アークレイ株式会社 本間 雅史 先生

講義Ⅱ：「血液ガスデータの管理」

講師：シーメンスメディカルソリューション・ダイアグノスティックス株式会社

山本 邦夫 先生

講義Ⅲ：「SMBGとPOCT血糖測定器の違い等及び血糖測定実習」

講師：ロッシュ・ダイアグノスティックス株式会社 櫻井 宏 先生

参加者 71人（会員56名 賛助会員15人）

- ・すこやかともしびまつり2009 H21年9月26日（土）・27日（日） 生涯教育 基礎20点
会場 ハイブ長岡
来場者 約15,000人 ストレス度測定 410名
会員ボランティア技師 21名
- ・糖尿病を知る集い H21年10月3日 生涯教育 基礎20点
会場 長岡市リリックホール（シアター）
来場者 333名 来場者簡易血糖測定 230名 HbA1c パネル説明
会員ボランティア技師 9名
- ・三条市市民公開講座 H21年10月17日（土） 生涯教育 基礎20点
会場 三条市総合福祉センター 来場者 300名
来場者に簡易血糖測定・動脈硬化度測定血糖測定 150名 PWV 60名
会員ボランティア技師 14名
- ・エイズ撲滅キャンペーン H21年12月5日（土） 生涯教育 基礎20点
会場 リバーサイド千秋長岡アピタ店
日臨技エイズ撲滅キャンペーンチラシ300枚
会員ボランティア技師 9名

《平成21年度会議録》

- 第1回理事会 平成21年4月21日（火）立川総合病院 4F会議室
議題：年間行事計画，各理事役割分担，支部フォーラムについて 他
- 第2回理事会 平成21年5月19日（火）立川総合病院 4F会議室
議題：支部フォーラム，ふれあい研修会について 他
- 第3回理事会 平成21年7月23日（木）立川総合病院 4F会議室
議題：すこやかともしびまつり2009，糖尿病をしるつどい，三条市市民公開講座
ふれあい研修会について 他
- 第4回理事会 平成21年9月10日（木）立川総合病院 4F会議室
議題：ふれあい研修会・支部研究会，すこやかともしびまつり2009，糖尿病をしるつどい，三条市市民公開講座について 他
- 第5回理事会 平成21年10月22日（水）立川総合病院 4F会議室
議題：ふれあい研修会・支部研究会，世界エイズデー，中越支部講演会，支部総会について
- 第6回理事会 平成21年11月8日（日）北里大学保健衛生専門学院
議題：ふれあい研修会・支部研究会，POCセミナーの反省及び今後の日程確認について
- 第7回理事会 平成22年1月22日（土）立川総合病院 4F会議室
議題：中越支部講演会，支部総会，篠川至賞中越支部推薦について
- 第8回理事会 平成22年3月4日（木）立川総合病院 4F会議室
議題：中越支部講演会，支部総会について・議案書作成

下越支部

<研修会等>

- (1) 第1回支部研修会

日時：平成21年6月13日（土）13：30～17：00
場所：下越総合健康開発センター 2階 大講堂
内容：専門外のための卒後教育研修会
参加者：80名 生涯教育認定 基礎20点

(2) 第2回支部研修会

日時：平成21年9月26日（土）14：00～17：00
場所：下越総合健康開発センター 2階 大講堂
内容：新型インフルエンザについて
参加者：38名 生涯教育認定 専門20点

(3) エイズ撲滅啓発キャンペーン

日時：平成21年12月5日（土）11：50～12：00
場所：イオン新発田ショッピングセンター
内容：エイズ予防啓発チラシ等の配布
参加者：11名 生涯教育認定 基礎20点

(4) 第3回支部研修会（第25回P O Cセミナー）

日時：平成21年12月5日（土）14：00～17：00
場所：下越総合健康開発センター 2階 大講堂
内容：ドラッグについて
参加者：56名 生涯教育認定 専門20点
P O Cセミナー参加者：44名

(5) 生活習慣病予防セミナー（県技師会予算総会）

日時：平成22年3月14日（日）10：00～16：00
内容：公開講演「聞いて納得する健康法」
「健康診断で指摘される心電図異常」
健康祭り，レクチャー
参加者：179名 生涯教育認定 専門20点 基礎30点

<下越支部理事会>

今年度は、生活習慣病予防セミナーおよび県予算総会・支部研修会打合せ等で8回開催した。

- 第1回：4月23日
- 第2回：6月4日
- 第3回：7月30日
- 第4回：9月17日
- 第5回：11月19日
- 第6回：12月9日
- 第7回：1月20日
- 第8回：2月24日

<ホームページ>

今年度は研修会予告・参加報告，理事会議事録掲載などで更新した。

佐渡支部

1. 学術活動

- 1) 研修会（専門-20）

日時 平成21年7月11日(土) 2:00~4:00

会場 ファミリーオ相川

内容 講演 『オカルトHBV感染からの再燃と肝細胞癌』

講師 アボットジャパン株式会社 学術情報部 飯沼一茂 先生

2) 研修会(専門-20)

日時 平成21年11月28日(土) 13:00~17:00

会場 佐渡市立両津病院2階「佐渡市両津保健センター」

内容

一般演題発表

- ① インスリン測定試薬“サイアス INSULIN”の基礎的検討と検診におけるインスリン抵抗性指数(HOMA-R)の有用性について

佐渡総合病院 三好 孝史 技師

- ② 四丘体腫瘍と感染に起因する急性水頭症の術前MRI検査
- ETV (endoscopic third ventriculostomy) -

佐渡総合病院 宮崎 勝吉 技師

- ③ 肺動脈塞栓症の一例

佐渡総合病院 関 元気 技師

- ④ 人間ドックで発見された乳がん症例

新潟県労働衛生医学協会 佐渡検診センター 林 友絵 技師

講演 『超音波検査の最近のトピックス』

講師 東芝メディカルシステムズ(株) 五十嵐 勉 先生

実技講習

3) 研修会(専門-20) 日時 平成22年2月15日(月) 18:15~

会場 佐渡総合病院2階講堂

内容 講演 『乳がん診療の課題』

講師 佐渡総合病院 外科部長 親松 学 先生

4) 支部総会(基礎-30) 14:30~14:50

研修会(専門-20) 15:00~16:30

日時 平成22年3月6日(土)

会場 新潟県労働衛生医学協会 佐渡検診センター

内容 講演 『生化学における免疫反応の基礎知識』

講師 デンカ生研(株) POCT 臨床試薬部 臨床試薬課 課長 山崎 忠 先生

2. 関連団体主催研修会

1) 佐渡医師会学術講演会(専門-10)

日時:平成21年7月11日(土) 14:30~16:30

会場:佐渡総合病院2階講堂

内容:①『新潟地域における大腿骨地域連携バスの実態と課題』

②『新型インフルエンザの現状とその対策』

講師:①新潟リハビリテーション病院 院長 山本 知章 先生

②新潟大学大学院医歯総合研究科 公衆衛生学分野 鈴木 宏 先生

2) 佐渡医師会学術講演会(専門-10)

日時:平成21年8月27日(木) 18:30~

会場：佐渡総合病院 2階講堂

内容：『日常よく診る不整脈とその処置』

講師：新潟大学大学院医歯総合研究科 循環器学分野 相澤 義房 先生

3) 佐渡医師会学術講演会（専門－10）

日時：平成21年9月25日（金）18：45～20：00

会場：佐渡総合病院 2階講堂

内容：『末梢動脈疾患の診療』

講師：新潟大学大学院 呼吸循環器外科学分野教授 林 純一 先生

4) 佐渡医師会学術講演会（専門－10）

日時：平成21年10月2日（金）18：40～20：00

会場：佐渡総合病院 2階講堂

内容：『新潟大学麻酔科ペインクリニックの現状』

講師：新潟大学大学院医歯総合研究科 麻酔科学分野 教授 馬場 洋 先生

5) 佐渡医師会学術講演会（専門－10）

日時：平成21年11月5日（木）18：45～20：00

会場：佐渡総合病院 2階講堂

内容：『B型肝炎の最新治療』

講師：順天堂大学医学部付属静岡病院 消化器内科 教授 市田 隆文 先生

3. 佐渡支部理事会

県理事会報告及び支部活動計画等で支部理事会を4回開催した。

新潟支部

1. 学術及び組織活動

1) 平成21年度新潟支部研修会 37名参加

平成21年3月13日（金）新潟大学歯学総合病院西病棟3階 MINCS

「みんなの食育」

講師 国際調理製菓専門学校非常勤講師 本間 真弓

2) 第28回一般検査研修会 29名参加

平成21年6月10日（水）新潟ユニゾンプラザ4階小研修室2

①「スライドカンファレンス」

講師 新潟医療技術専門学校 白川 千恵子 技師

②「寄生虫検査の実際について」

講師 新潟県保険衛生センター成人病検診センター 斎藤 功英 技師

3) 第115回新潟支部微生物研究会 33名参加

平成21年6月18日（木）新潟市民病院2階大会議室（201号室）

「インフルエンザウイルスについて」

講師 信楽園病院 本間 康夫 技師

4) 第32回新潟病理技術研究会・平成21年度新潟県形態検査部門病理検査領域研修会（共催） 36名参加

平成21年7月4日（土）新潟大学医歯学総合病院西館3階 MINCS 室

①「東北臨技形態部門病理・細胞診研修会報告」

講師 株式会社江東微生物研究所・新潟支所 猪口 純子 技師

②「脱灰標本作成方法」

- 講師 新潟大学大学院医歯学総合研究科 細胞機能講座分子細胞病理学分野 大谷内 健二 技師
- ③ 「光触媒によるホルムアルデヒド分解装置について」
講師 盛和工業株式会社 山本 雅章 先生
- ④ 「新潟市民病院の環境対策の現状」
講師 新潟市民病院 樋口 忠博 技師
- ⑤ 「ホルマリン溶液の管理と環境対策」
講師 日本医科大学付属千葉北総病院 病理部 清水 秀樹 技師
- 5) 第53回新潟支部血液研究会 17名参加
平成21年9月10日(木) 新潟市民病院4階講堂
「臨床検査におけるフローサイトメトリー」
講師 バックマンコールター学術部 青山 浩二 先生
- 6) 平成21年度 第1回新潟支部研修会 27名参加
平成21年9月19日(土) ユニゾンプラザ介護実習室
「介護のコツ」
講師 (社)新潟県介護福祉士会 副会長 西本 円 先生, 理事 田辺 妙子 先生
- 7) 第11回新潟市健康福祉祭り 19名参加
平成21年10月25日(日) 新潟市万代シティーパーク
- 8) 第116回新潟支部微生物研究会 22名参加
平成21年11月12日(木) 新潟市民病院2階大会議室(201号室)
- ① 「新型インフルエンザの当院の対応」
講師 新潟市民病院 今井 由美子 技師
- ② 「新型インフルエンザの検査法」
講師 新潟県保健環境科学研究所 昆 美也子 技師
- 9) エイズ撲滅キャンペーン 17名参加
平成21年12月5日(土) アピタ新潟西店
- 10) 生理検査研修会 23名参加
平成22年1月13日(水) 新潟市民病院4階講堂
「脳波ってこんなに面白い!」
講師 新潟市民病院小児科 山崎 佐和子 先生
- 11) 第117回新潟支部微生物研究会 23名参加
平成22年2月25日(木) 新潟市民病院2階大会議室(201号室)
「CLSI UPDATE 2010」
講師 シスメックス株式会社 横山 僚 先生
2. 総会及び幹事会
- 1) 支部定期総会
平成21年3月13日(金) 新潟大学医歯学総合病院
- 2) 第1回支部幹事会
平成21年3月13日(金) 新潟大学医歯学総合病院
- 3) 第2回支部幹事会
平成21年4月15日(水) 新潟県臨床検査技師会事務所
- 4) 第3回支部幹事会
平成21年5月13日(水) 新潟県臨床検査技師会事務所

- 5) 第4回支部幹事会
平成21年6月24日(水) 新潟県臨床検査技師会事務所
- 6) 第5回支部幹事会
平成21年7月22日(水) 新潟県臨床検査技師会事務所
- 7) 第6回支部幹事会
平成21年8月19日(水) 新潟県臨床検査技師会事務所
- 8) 第7回支部幹事会
平成21年9月18日(金) 新潟県臨床検査技師会事務所
- 9) 第8回支部幹事会
平成21年10月21日(水) 新潟県臨床検査技師会事務所
- 10) 第9回支部幹事会
平成21年11月18日(水) 新潟県臨床検査技師会事務所
- 11) 第10回支部幹事会
平成22年1月20日(水) 新潟県臨床検査技師会事務所
- 12) 第11回支部幹事会
平成22年2月17日(水) 新潟県臨床検査技師会事務所

【主要行動報告】

1. 新潟医療技術専門学校入学式へ松田会長出席(4月7日)
2. 北里大学保健衛生専門学院入学式へ松田会長出席(4月8日)
3. 4月常任理事会(4月11日)
4. 日臨技第1回定期総会(東京)へ松田会長出席(4月25日)
5. 日臨技データ標準化委員会(東京)へ伊藤理事出席(4月25日)
6. 第27回篠川至賞選考委員会(4月27日)
7. 新潟県検査データ標準化委員会(5月11日)
8. 検査研究部門会議, 広報部会議(5月16日)
9. 新潟県臨床検査技師会監査(5月21日)
10. 第3回臨床検査セミナー及び第1回新臨技通常総会(5月24日)
11. 第1回理事会(6月6日)
12. 新潟栄養・食生活学会平成21年度第1回役員会へ吉原副会長出席(6月10日)
13. 細胞検査士会総会へ松田会長出席(6月13日)
14. 故鈴木信一技師の通夜へ松田会長参列(6月15日)
15. はっぴー乳ライフ実行委員会へ松田会長出席(6月20日)
16. 新潟県成人病予防協会評議員会へ松田会長出席(6月22日)
17. 東北技師会学術部長・検査研究部門長合同会議へ渡辺副会長出席(6月26日)
18. 第1回表彰委員会(7月3日)
19. 新潟県糖尿病対策推進会議幹事会へ松田会長, 小田副会長出席(7月8日)
20. 新潟県糖尿病検診研究会のあり方部会へ松田会長出席(7月8日)
21. 平成21年度新潟県細胞診研修会へ松田会長出席(7月18日)
22. 7月常任理事会(7月18日)
23. 新潟県・新潟市合同精度管理専門委員会へ松田会長出席(7月28日)
24. 第3回アジア医学検査学会式典(横浜市)へ坂西支部長出席(7月30日)

25. 新潟県糖尿病検診研究会合同会議へ松田会長出席（8月7日）
26. 第2回理事会（8月8日）
27. 新潟県精度管理協議会へ松田会長、伊藤理事出席（9月3日）
28. がん制圧新潟県大会へ松田会長出席（9月4日）
29. 日臨技女性部会（大森日臨技会館）へ小田辺副会長出席（9月5日）
30. 新潟県がん検診研究会運営委員会へ小田辺副会長出席（9月8日）
31. 新潟県臨床検査センター協議会へ松田会長、小田辺副会長、永井監事出席（9月12日）
32. 9月常任理事会（9月12日）
33. 衛生検査所立入検査（長岡市）へ松田会長同行（9月17日）
34. ピンクリボンホリデー2009（ビックスワン）広報活動（9月19日）
35. 第85回新潟県臨床検査学会・第3回県理事会（10月4日）
36. 新公益法人制度説明会へ吉原副会長出席（10月16日）
37. ピンクリボンホリデー2009へ検査ブース出展（10月18日）
38. 標準化委員会（10月21日）
39. 衛生検査所立入検査（新潟市）へ松田会長同行（10月28日）
40. 第1回東北代表者会議（秋田市）へ松田会長、吉原副会長出席（10月30日）
41. 第50回東北医学検査学会（10月31日から11月1日）
42. 衛生検査所立入検査（上越市）へ松田会長同行（11月6日）
43. 新潟県糖尿病検診研究会総会へ松田会長出席（11月11日）
44. 11月常任理事会（11月14日）
45. 東北技師会事務局会議（岩手県）へ小柳事務局次長出席（11月27日）
46. はっぴー乳ライフ実行委員会へ松田会長出席（11月28日）
47. 衛生検査所立入検査へ松田会長同行（12月3日）
48. エイズ撲滅キャンペーン県内各支部で実施（12月5日）
49. 世界エイズデー新潟2009へ堀川事務局長、田沢理事出席（12月6日）
50. 第4回理事会（12月12日）
51. 日本臨床細胞学会新潟支部研修会へ松田会長出席（12月19日）
52. 関係団体へ三役で新年挨拶（1月8日）
53. 県福祉保健部の公益法人立入検査に松田会長、堀川事務局長対応（1月14日）
54. 第5回理事会（1月16日）
55. 第2回新潟県・新潟市合同精度管理専門委員会議へ松田会長出席（1月18日）
56. 日臨技代議員会（東京）へ松田会長・堀川事務局長出席（1月23日）
57. 日臨技女性部会（東京）へ小田辺副会長出席（1月23日）
58. プロモーション東北地区委員会へ小田辺副会長出席（2月8日）
59. 第6回理事会（2月13日）
60. 新潟県精度管理協議会へ松田会長・伊藤理事出席（2月17日）
61. 平成21年度第2回東北代表者会議（八戸市）へ松田会長・堀川事務局長出席（2月26日）
62. 新潟県臨床検査センター協議会へ松田会長出席（3月6日）
63. 新潟医療技術専門学校卒業式へ松田会長出席（3月12日）
64. 生活習慣病予防セミナー・平成21年度第2回通常総会（3月14日）
65. 第7回理事会（3月14日）
66. 北里大学保健衛生専門学院卒業式へ坂西理事出席（3月17日）

67. 成人病予防協会評議員会へ松田会長出席（3月18日）
68. 新潟大学医学部保健学科卒業式典へ松田会長出席（3月23日）
69. 日臨技第2回定期総会（東京）へ堀川事務局長出席

平成21年度収支決算報告

平成21年度収支決算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

収入の部

大科目	中科目	小科目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
会費収入			8,000,000	8,111,500	△ 111,500	
	正会員会費		6,600,000	6,781,500	△ 181,500	1,233名
	賛助会員会費		1,400,000	1,330,000	70,000	66社
事業収入			4,050,000	4,255,500	△ 205,500	
	参加費収入		150,000	263,500	△ 113,500	県学会, 臨床検査セミナー
	会誌広告収入		1,200,000	1,175,000	25,000	会誌17社, 1団体
	助成金収入		2,700,000	2,817,000	△ 117,000	日臨技, 県医師会
雑収入			1,005,000	1,949,466	△ 944,466	
	預金利息収入		5,000	62,491	△ 57,491	定期利息
	雑収入		1,000,000	1,886,975	△ 886,975	研究部門残金, 学会協賛金
	当期収入合計	A	13,055,000	14,316,466	△ 1,261,466	
	前期繰越収支差額		1,000,000	1,638,436	△ 638,436	
	収入合計	B	14,055,000	15,954,902	△ 1,899,902	

支出の部

大科目	中科目	小科目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
事業費			8,750,000	7,961,728	788,272	
	学術研究費		3,600,000	2,859,630	740,370	
		学 会 費	1,000,000	965,864	34,136	第85回県学会
		学術部活動費	1,400,000	1,124,290	275,710	検査研究部門助成金
		精度管理事業費	640,000	306,785	333,215	新潟県精度管理事業
		負 担 金	460,000	334,925	125,075	東北技師会負担金
		雑 費	100,000	127,766	△ 27,766	源泉徴収税
	総会費		1,250,000	1,190,556	59,444	
		準 備 費	250,000	125,842	124,158	賞状, 筒, セミナー用チラシ
		運 営 費	1,000,000	1,064,714	△ 64,714	セミナー2回費用
	広報費		2,900,000	2,846,131	53,869	
		会 誌 発 行 費	2,600,000	2,613,743	△ 13,743	会誌発行4号
		広 報 編 集 費	300,000	232,388	67,612	編集委員会
	組織強化費		1,000,000	1,065,411	△ 65,411	各支部助成金, 公報活動費

大科目	中科目	小科目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
管理費			4,900,000	4,253,055	646,945	
	事務費		2,390,000	2,077,289	312,711	
		備 品 費	200,000	43,435	156,565	バーコードスキャナー
		消 耗 品 費	90,000	73,930	16,070	文房具等
		印 刷 費	300,000	290,695	9,305	封筒, コピー代
		通 信 費	500,000	475,556	24,444	案内発送, プロバイダー
		交 通 費	400,000	362,767	37,233	日臨技, 東北会議
		渉外対策費	300,000	188,226	111,774	関連団体, 支部対策費
		報 酬 費	600,000	642,680	△ 42,680	事務職員報酬等
	会議費	旅 費	600,000	586,365	13,635	理事会等旅費
	事務所費		1,730,000	1,524,894	205,106	
		維持管理費	1,600,000	1,439,332	160,668	賃貸料, 電気代
		電 話 費	100,000	77,350	22,650	
		事務所雑費	30,000	8,212	21,788	事務所備品
	雑費		180,000	64,507	115,493	
		交 際 費	150,000	64,507	85,493	関連団体慶弔費
		雑 費	30,000	0	30,000	
特定預金支出			300,000	1,035,122	△ 735,122	
		会館建設引当預金支出	0	35,122	△ 35,122	
		東北学会引当預金支出	300,000	1,000,000	△ 700,000	第 56 回東北学会積立
予備費			105,000	187,115	△ 82,115	注
当期支出合計	C		14,055,000	13,437,020	617,980	
当期収支差額	A - C		△ 1,000,000	879,446	△ 1,879,446	
次期繰越収支差額	B - C		0	2,517,882	△ 2,517,882	

注：予備費 187,115 円は日臨技パートナー保険料（103 名分）に拠出充当した額である。

総合財産目録

平成22年3月31日現在

科 目	金 額	
I. 資産の部		
1. 流動資産		
現金	762,774	
普通預金		
第四銀行臨港支店	1,623,506	
ゆうちょ銀行	131,602	
流動資産合計		2,517,882
2. 固定資産		
会館建設引当預金		
第四銀行臨港支店（定期）	10,000,000	
北越銀行県庁支店（定期）	10,070,302	
ゆうちょ銀行（定額4口）	5,268,000	
篠川至賞引当預金		
ゆうちょ銀行（定額3口）	7,801,000	
共済基金		
ゆうちょ銀行（定額3口）	1,724,000	
東北学会引当預金		
ゆうちょ銀行（定額1口）	3,500,000	
固定資産合計		38,363,302
資産合計		40,881,184
II. 負債の部		
1. 流動負債		0
2. 固定負債		0
負債合計		0
正味財産		40,881,184

1. 正味財産増減計算書 平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

科 目	金 額	
I. 増加の部		
1. 資産増加額		
会館建設引当預金	35,122	
学会引当預金	1,000,000	
当期収支差額	879,446	
資産増加額合計		1,914,568
2. 負債減少額		0
増加額合計		1,914,568
II. 減少の部		
1. 資産減少額	0	
2. 負債増加額		0
減少額合計		0
当期正味財産増加額		1,914,568
前期繰越正味財産額		38,966,616
期末正味財産合計額		40,881,184

2. 貸借対照表

平成22年3月31日現在

科 目	金 額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	2,517,882		
流 動 資 産 合 計		2,517,882	
2. 固定資産			
会館建設引当預金	25,338,302		
篠川至賞引当預金	7,801,000		
共済基金	1,724,000		
東北学会引当預金	3,500,000		
固 定 資 産 合 計		38,363,302	
資 産 合 計			40,881,184
II. 負債の部			
1. 流動負債		0	
2. 固定負債		0	
負 債 合 計			0
III. 正味財産の部			
正味財産			40,881,184
(うち当期正味財産増加額)			(1,914,568)
負債及び正味財産合計			40,881,184

計算書類に対する注記

1 重要な会計方針

- ① 資産の評価基準及び評価方法について
 - ・棚卸資産は、最終仕入原価法による原価法。
 - ・投資有価証券は、異動平均法による原価法。
 - ② 固定資産の減価償却について
 - ・有形固定資産の減価償却は定率法により行う。
 - ③ 引当金の計上基準について
 - ・貸倒引当金、賞与引当金は、法人税法の規定に基づく繰入限度相当額を計上する。
 - ・退職給与引当金は、役員及び職員の退職金支給に備え、退職金期末要支給額を計上する。
 - ④ 資金の範囲について
 - ・資金の範囲には、現金預金、未収金、未収会費、仮払金、未払金、仮受金を含めている。
 - なお、前期末及び当期末残高は下記4のとおりである。
- 2 基本財産は所有していない。
 - 3 有形固定資産は所有していない。
 - 4 未収金等及び未払金等は発生していない。
 - 5 担保に供している資産並びに支払を保証している債務はない。
 - 6 表示の金額は、円単位で表示している。